



発行：豊町東町会 編集：事務局広報部
お問合せ 豊町ふるさと会館 Tel & Fax 04-7169-1101

今号のご案内

- 餅つき大会に行こう
- 会館が自主避難場所に
- 水戸街道探検ツアー

餅つき大会に行こう！

1 月 12 日(日) 11:00～豊小学校校庭
(防犯訓練も兼ねています)

恒例の「新春餅つき大会」を開催します。豊小学校の協力で広い校庭をお借りし、たくさんの地域の人を迎えて、楽しいひと時を過ごしていただくイベントです。



町会の成年部、婦人部、子ども会が中心になって、90 kgの餅をつき、手作りの豚汁とともに、参加した皆さんに無料で味わっていただきます。子ども会の「柏元気太鼓」の演奏があり、シニアクラブの「明寿会」の皆さんが羽根つき、コマ回しなど昔懐かしい正月の遊び方を教えてください。

災害時の避難場所である豊小学校への順路を確認し、マキを使って釜でもち米を炊く炊き出し訓練も兼ねている餅つき大会です。食器と箸を持参して、ご家族やご近所を誘ってお出かけ下さい。

●安全で美しい街を願って ～豊小児童のポスターを展示～

町会と豊小学校が共同で行う「ポスターキャンペーン」。来春卒業する豊小学校6年生に



よるポスターを制作中です。年内に制作を終え、1 月中にパネルにセットするなどの作業を進めます。テーマは街の安全と美化で、「タバコのポイ捨てをやめよう！」「火の用心！」など児童らが願いを込めて描いたポスター約 400 枚が旧水戸街道沿いなど、町内の主要なところに展示されます。

新春の風物詩「はしご乗り」 ～「はしご乗り」も見られます～



町内の高橋鳶さんのご厚意により、伝統の「はしご乗り」を披露していただきます。江戸時代の火消しを現代に引き継ぐ日本固有の文化を、ぜひ目の前でご覧ください。木遣り節とともに纏（まとい）をかざしながら登場する「柏若鳶会」の皆さんの妙技をお楽しみください。

みんなで「ドラム・サークル」 ～リズムを合わせて～

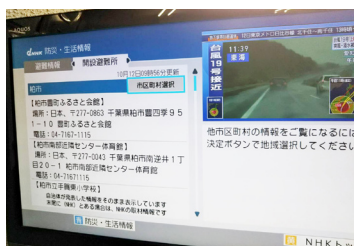


今年も「ドラム・サークル」を実施します。経験も練習も不要。リードする人と一緒にドラムを叩く。自分の好きなように叩いても、みんなが合わせてくれる。みんなが友だちになれるような、不思議な雰囲気を感じてください。

今年も「ドラム・サークル」を実施します。経験も練習も不要。リードする人と一緒にドラムを叩く。自分の好きなように叩いても、みんなが合わせてくれる。みんなが友だちになれるような、不思議な雰囲気を感じてください。

● 台風 15 号、19 号襲来で

ふるさと会館が自主避難所に



台風 15 号、続いて 19 号の接近に伴い、柏市が管理する各近隣センターなど 21 か所が、自主避難所として開設されました。富里地域では富里近

隣センターと豊町ふるさと会館が避難所に。町会の施設では市内で豊町ふるさと会館のみで、以前大雨の際会館に避難した事例もあって、指定を受けました。町会の自主防災組織としての開設です。

避難する人のために、いずれも職員が待機。会館では町会の成年部が中心となり、とくに激しい風雨が予測された 19 号上陸の 10 月 12 日には、約 10 人が会館に泊まり込んで備えました。「こわくて眠れない」という一人暮らしの高齢者ら 2 人が避難し、一泊しました。柏市全体での避難者は約 300 人でした。

避難した人に、炊き出し訓練も兼ねてポリ袋に米と水を入れ、沸騰したお湯で炊いたごはんにレトルトカレーをかけて提供。用意した寝袋で休んでもらいました。

今後も強い風雨や雷、たつまきなどの災害が予測される時は、自主避難所として開放し、町会員が待機をします。

● 豊小学校も対策を練り直し

地震など災害の際の避難所となっている豊小学校でも、土田真治教頭先生が泊まり込んで待機しました。柏市の小学校では「3.11」を受けて地震の際の対策を立てていますが「台風のようにあらかじめ予測される災害も含めて、地域と連携して避難所対策の練り直しを急ぎたい」と土田先生は話しています。

● ポリ袋でごはんを炊く

20 人が参加して炊き出し訓練



秋恒例の炊き出し訓練は 11 月 9 日、低見台公園で実施。今回はポリ袋に米と水を入れ、湯せんで炊く訓練です。

120 度の温度に耐えるポリ袋に 1 人分の米 100 グラム、水 100 ～ 120cc を入れ、袋の中の空気を抜いて上部をしぼり、約 10 分漬けおきます。大きな鍋にお湯を沸騰させ、人数分の袋（訓練では 2 つ

の鍋に 10 人分ずつ）を入れ、約 25 分湯せんして取り出し、10 分蒸らせば出来上がり。袋の上部をカットし、プラスチック碗などの上に袋のまま置いて広げれば、容器は汚れずに繰り返し使えます。訓練では温めないで食べられるレトルトカレーをかけました。「ふつうのごはんと同じ。おいしい」と参加した人たちにも好評。今のところ耐熱性のポリ袋は市販されておらず、今回は通信販売で購入しました。

● 大膳山大昭の森が緑地に

災害時の一時避難所にも

常磐線の線路の向こう側、豊町にある大膳山大昭の森の緑地整備工事が進められています。土地所有者の寄付を受けて柏市が行っているも



ので、生い茂っていた樹木が伐採され園路を配した約 9000 平方メートルの緑地が誕生します。

これまで樹木が密生し、周囲が閉ざされ、防犯上の不安もありましたが、緑地化で見通しもよくなります。令和 2 年 4 月に「大膳山大昭の森緑地」として住民に開放されます。豊町西町会は避難所である豊小学校に行くには線路を越えなければなりません。緑地の完成で、散策が楽しめるほか、災害時の一時避難所としても活用できると期待されます。

● 消防小屋を移転、新築

来年 3 月末完成の予定



ふるさと会館の前にある消防小屋を移転することになり、新しい小屋の建設が進められています。現在の小屋は昭和 48 年に建てられたもので柏市内に現存する消防小屋では最も古く、老朽化が進んだためです。

移転先は現在の位置から旧水戸街道を南柏駅方面へ向かい、最初の信号の少し先を左に入った住宅街の中にある広い土地の一角です。建物は 2 階建て、1 階は消防車を入れる車庫、2 階は会議などに使われます。完成は令和 2 年 3 月末の予定。

私たちの町の消防団は、正式には柏市消防団第 2 方面第 8 分団といい、担当地域は豊町東町会、豊町西町会の全域と常盤台など周辺の一部地域。団員はみな仕事を持っており、いざという時にかけるボランティア。新しい拠点で、地域の防災に当たります。



● 秋空の下、運動とふれあい

第 38 回体育祭



ふるさと協議会の第 38 回ふれあいの集い体育祭が 10 月 20 日、柏第三小学校校庭で開かれ、7 町会から多数の人が参加し、19 の競技で熱戦をくり広げ、運動を通じたふれあいの一日を過ごしました。

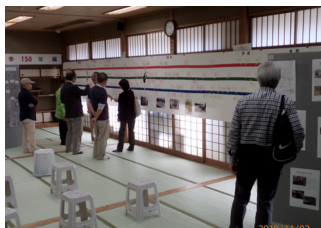
町会対抗（6 チーム）でわが町会は「ボール運びリレー」で 1 位になるなど総合 3 位。優勝は緑ヶ丘町会、準優勝は富里町会。

昼休みに行われた「富里ギネス下駄とばし」子供の部で、豊町東町会から出場した村瀬結衣花さん（中原小 6 年）が 13 メートル 30 の新記録を出し表彰されました。

● 地域の人たちの作品一堂に

第 36 回文化祭

ふるさと協議会主催の第 36 回文化祭が、11 月 2 日、3 日、近隣センターで開かれました。絵画、書、手芸、陶芸など地域の個人やサークルの作品が展示され、多くの人が鑑賞に訪れました。



豊町東町会からは、絵手紙、アートフラワー、絵などが出展され、和室では豊四季開墾 150 年の歩みや出来事を示す年表やパネルを展示（町会とふる協広報部共同製作）。

広大だった上野牧（幕府の放牧地）が「豊四季」と命名され、明治 2 年 11 月 17 日に初めて入植者が入り、以来開墾作業に苦闘するなどの豊四季の歴史、豊四季村～千代田町～柏町～柏市への都市の歩みや柏市発展の原点となった鉄道（常磐線や東武線）、駅の歴史を年表やパネルで展示したものです。

また、駐車場では当町会の村田恒さんらのリードで「ドラム・サークル」が行われ、楽器などさわったこともない幼児も加わって、自由気ままなドラムたたきに興じる風景も見られ、文化祭を盛り上げました。



● 宇宙技術の一端に触れる

バスツアー、JAXA へ



婦人部企画の日帰りバスツアー、今回は 9 月 18 日、茨城県つくば市にある筑波宇宙ステーション（JAXA）を訪れました。一行 40 人はガイドの案内で宇宙飛行士養成の訓練や健康管理のための施設などを見て、国際宇宙ステーション「きぼう」の機器や実験装置監視などの作業をしている管制室を窓ガラス越しに見学。世界をリードする日本の宇宙技術を支える現場の人たちが意外に若いのにちょっと驚きました。

このあと、つくばみらい市にある野外型のロケ施設「ワープステーション」へ。江戸時代の城門や堀、旅籠、明治・大正・昭和のレトロな建物や街を見学。ドラマには欠かせないこれらの施設を見て歩くと、まるでタイムスリップした感じに。さいごに守谷市のアサヒビール茨城工場でビールができるまでを見て、できたてのビールを試飲して帰途につきました。



● 地元の神社で初詣を



町内とすぐ近くに 2 つの神社があります。新木戸の旧水戸街道沿いにある別雷稲荷神社（わけいかずちいなりじんじゃ）は明治 3 年の創建。開墾で入植した人たちが雨乞いと、心のよりどころとして、大切にしてきた神社。同じく街道沿いで富里町会に入ったところにある神明神社も、入植者のために建てられた神社です。どちらの神社も大晦日から元日にかけて参詣者に甘酒や御神酒がふるまわれます。初詣に訪れてはいかが。



●高城氏の2つの城跡



中世の東葛地方の領主だったのが高城氏。その居城だった根本内城（ねぎうちじょう）跡を訪れました。

本土寺道標のある交差点を右折し、しばらく歩いて旧水戸街道と国道 6 号が交差するあたりに城はありました。寛政 3 年（1462）高城胤忠が築城。小金城に移るまで居城でした。国道で分断され、ほとんどが宅地化されてしまい、わずかに残る土塁や空堀を「根本内歴史公園」として保存されています。

この城が手狭になったため、新しく大谷口台に築かれたのが小金城。常磐線新松戸駅から歩いて 20 分ほどの高台に城跡はありました。胤忠の子胤吉が天文 6 年（1537）に築城。入り組んだ地形を生かした堅固な城でした。天正 18 年（1590）秀吉の小田原攻めのさい、攻め落とされるまで約半世紀、東葛地方の政治の拠点でした。ここも大部分は宅地となり、金杉口跡の空堀や土塁の一部が復元され「大谷口歴史公園」として保存、展示されています。

●本土寺に芭蕉の句碑

小金城跡から歩いて 30 分、常磐線北小金駅に近い本土寺へ。健治 3 年（1277）創建という古刹です。本堂の前



に文化元年（1804）に行われた芭蕉忌にちなんで建てられたという「翁の碑」があります。「御命講（おめいこ）や油のような酒五升」という芭蕉の句が刻まれています。芭蕉はこの寺に一度も訪れてはいませんが、本土寺の第 39 世日浄上人が俳人で、しばしば芭蕉をしのぶ句会を開いたといわれます。3 万本ともいわれる紫陽花の花は、「あじさい寺」として有名です。



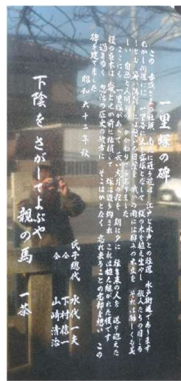
人が俳人で、しばしば芭蕉をしのぶ句会を開いたといわれます。3 万本ともいわれる紫陽花の花は、「あじさい寺」として有名です。

●向小金新田の産土神

常磐線の線路をまたぎ、ふたたび旧水戸街道へ。根本内城跡を左に見て国道 6 号を越えるとまた静かな旧道。バス



停「庚申塚」の手前右側に、青面金剛を彫った



2 つの庚申塔が並んでいました。その先、左側に香取神社。旧向小金新田の産土神です。昭和 16 年まで一里塚が残っていたそうですが、いまは「一里塚の碑」でしのぶだけ。碑の最後に、小金原をしばしば訪れた小林一茶の「下陰をさがしてよぶや親の馬」の句が刻まれています。

●牧への入り口 新木戸

南柏駅前をすぎ最初の信号機のある交差点。その手前にかつて新木戸が設けられていました。直進すれば小金牧の中の旧道を通って柏へ。左へ曲がれば、日光東往還とも呼ばれた道で流山に至ります。牧は幕府領だったので、木戸には番人がいました。その様子は、江戸時代に描かれた「小金原勝景絵図」（船橋西図書館蔵）で知ることができます。



●明治3年建立の雨乞いの神社

新木戸を通ると、旧水戸街道は牧の中の原野を通る道。今の豊町東町会を南北に走る道路です。江戸時代は水戸藩主など常総の大名が通っていました。



明治 2 年に開墾地となり、入植した翌年に建てられた神社が、木戸を入ってすぐ右側にある別雷稲荷神社（わけいかずちいなりじんじゃ）。

開墾に苦勞する入植者が雨を願って建てた神社で、いまも子孫に当たる人たちが大切に守っています。

（つづく）

※街道探検の詳細は、町会のホームページをご覧ください。